

ほんのちょっとした一言で

校長 桐野 和之

大昔の人々は、「言霊（ことだま）」と言って、言葉は使い方によって人の幸せと不幸を左右すると信じていたそうです。この考え方は今の時代でも通用するのではないかと思います。皆さんは、例えば絵を描き終えて満足しているときに、「これ何の絵、とても〇〇には見えないよね！」などと友だちから言われてがっかりしたことはありませんか。絵を描いている時は幸せの絶頂にいたのに、心ない一言によって落胆したりすることはよくあるのではないですか。逆に、バスケットボールの試合で負けてしまいしょんぼりしているときに、先生から「今日のシュートのタイミングは良かったね。ずいぶんと進歩したね。この次の試合が楽しみだ」と声をかけられると元気を取り戻し、やる気が出てくるのではないのでしょうか。このように、うまくいかないで沈んでいたたり、もうダメだとあきらめかけていたりしたときに、投げかけられた温かい励ましの言葉によって、元気とやる気を取り戻すということはあると思います。自分にも一つ思い出があります。中学校の部活動（柔道）で立ち技の乱取りをしていた時のこと。思い切って背負い投げをかけると、技は決まらなかったのですが、顧問の先生が乱取りの合間に自分を呼び、「今のタイミングと思い切りの良さだ。それで良いんだ。」と教えてくれたのです。驚いたのはその直後です。続けられた乱取りの中で次々と背負い投げが決まったのです。自分でも驚きました。乱取りの合間に呼ばれたときは、叱られるのかなと思っていましたが、先生は自分の間の取り方や動きをきちんと見ていて、技のタイミングと思いきりの良さを教えてくれたのでした。「よし、このタイミング、これからも頑張ろう」前向きに考えるようになりました。また、技術的にも、体力的にも自分が向上していったのはいうまでもありません。



次に詩を紹介します。

その一言

その一言で励まされ その一言で夢を持ち

その一言で腹がたち、その一言でがっかりし、その一言で泣かされる

ほんのわずかな一言が 不思議に大きな力を持つ ほんのちょっとした一言で

(高橋 系吾)

皆さんどうでしょうか、この短い詩の中に、一言の言葉が、人の心に大きな変化をもたらすことがよく表現されています。たった一言の言葉で元気や勇気もらい、たった一言の言葉で自分の将来に夢をもつということがあります。相手が、元気になるように、温かい励ましの言葉をかけてあげたいものです。自分に自信がもてるように、友だちの良いところは褒めたいですね。

また、こんなことを言ったら友だちの心は傷つき、泣いてしまうかもしれない。こんなことを言ったら怒らせてしまうかもしれない。だから、相手を傷つけるような言葉は使わないように気をつけたいものです。自分では気づかない「言葉のいじめ」になっているかもしれません。詩のように言葉というものは本当に不思議な力をもっています。ほんのちょっとした一言が、人の心を傷つけたり、逆に大きな勇気を与えたりするので、皆さんには言葉を大切に、すてきな言葉を言えるように成長してもらいたいです。



修学旅行を終えて

第3学年主任 山下 昌孝

修学旅行は大成功したと言えるでしょう。以下にその要因を挙げてみたいと思います。

大成功の要因、其の壱、入念な準備。1年次は川越を歩いて班行動しました。2年次は都内で電車を使い班行動しました。今年はいよいよ未知なる地、奈良・京都です。1学期から入念に準備を進めてきました。事前学習は分担して個々で調べて新聞にまとめました。奈良・京都を知ることから始まり、体験学習決め、コース決めと進みました。1・2年次の経験を生かしてスムーズに進めることができました。しっかり準備できたことが修学旅行(3日間)の大成功につながったと思います。



大成功の要因、其の弐、考えて行動し時間を守る。教員の声かけがなくても予定を把握して自ら行動していました。1日目の朝の集合から3日目の解散まで、最初から最後までを通して時間を守って自主的に行動できたことに大きな成長を感じました。教員が声をかけることなく、自分たちで判断して行動できるところが大変素晴らしいです。



大成功の要因、其の参、元気。礼儀正しく元気に挨拶できることはもちろん、前向きに楽しもうとする姿が随所で見られました。体調を崩してしまった生徒は若干いましたが、事故やけががなく全員無事に帰ってくることができました。多くの人から「充実した修学旅行だった」との感想を聞いたことが何より嬉しいです。

3年生のみんなの素晴らしい姿がたくさん見られた修学旅行となりました。しかし、立派な3年生の姿を下級生にも見せたい!という欲求もあります。今度の行事は合唱コンクールです。ここでぜひ、「3年生ってやっぱりすごいなあ」と思ってもらえるような姿を見せてくださいね。



「最初で最後の修学旅行」

3年C組 男子生徒

僕は、この中学校生活で、最初で最後の修学旅行で、たくさんの思い出を仲間と共に作ることができた。一日目の奈良での観光は、法隆寺や薬師寺など、歴史あふれるものだった。特に印象に残っているのは、東大寺・奈良公園である。門にそびえる金剛力士像や、大きな仏像は、迫力があり見ごたえがあった。そして寺の中を見て回った後、その日一番楽しみにしていた、鹿との触れ合いの時間を満喫した。鹿せんべいを持っているとやってくる鹿は、とても愛らしく、とても楽しかった。

二日目の、京都班行動は、とても疲労がたまるものだった。目的地への道がわからず、地図を見たり、人に尋ねたりしながら、京都の観光をした。この日一番印象に残っているのは、伏見稲荷大社である。長い山道を彩るいくつもの赤い鳥居は、とても美しく、その景色は幻想的であった。

体験学習の京扇子絵付け体験は、何も描かれていない白い扇子に、自分で絵を付けていくのが意外に難しかった。体験学習の後は、最後の見学地である清水寺に行き、班員でかき氷を食べた。甘く冷たいかき氷は、今までの疲れが吹き飛ばす様なものであった。

宿舎に戻り、一日目と同じ様に夕食や入浴の時間が過ぎ、就寝の時間になると、この最初で最後の修学旅行の三日分の二日が終わろうとしていることを実感した。その夜は、疲れていたせい、ぐっすり眠ることができた。

最終日、三日目の朝が来て、班行動出発までは、あっという間であった。僕たちのタクシーのドライバーさんは、とても明るく優しく僕たちと話してくださり、目的地までの時間が短く感じた。この日一番印象に残っているのは、金閣寺である。そこに行くと、外国からの観光客がたくさんいて驚いた。木々の中に、美しくそびえる金閣は、とても感動的なものであった。

その後、金閣寺内で外国の方にインタビューをした。僕たちが話しかけたのは、一人の男性だった。彼はとても優しく応えてくれた。彼は、美しい日本を見るために、日本の様々な場所を訪れていると言っていた。それを聞いたとき、僕は改めて日本の素晴らしさを感じた。その後、僕たちは彼らと一緒に写真を撮った。金閣寺の後は、龍安寺に行って、美しい庭を満喫し、昼食のホテルへと向かった。

この三日間を振り返ると、東京との違いや、人との関わり大切さ、そして何よりも日本の美しさを改めて学ぶことができた。中学校生活、最初で最後の修学旅行で、仲間と生活したり、行動したことで、より友情が深まり、最高の思い出をつくることができた気がした。



雑感『身から出た錆』

「身から出た錆」という諺を知っているでしょうか。錆については、理科で学習して知っている人も多いと思います。科学的には、「金属の表面の原子が空気中の酸素や水分などと反応して生成された酸化物、水酸化物や炭酸塩など」です。私達の身のまわりにはたくさんの金属を材料とした製品が使われています。例えば学校の体育館を見渡してもたくさんの製品が金属でできています。天井に見える鉄骨、ギャラリーの手すり、ドア等、主に鉄でできたものが多いと思います。オリンピックの表彰で授与されるメダルも金属です。鉄の赤錆・黒錆、銅の緑錆、スズやアルミニウムの白錆など、それぞれの金属によって錆も違います。金のように錆びにくいものもあれば、鉄等は錆びやすい金属です。

さて、「身から出た錆」ということわざですが、身というのは刀の刃、刀身のことで、刀やナイフ、包丁など刃物は鍛造という加工方法でつくりま

す。鉄を赤くなるまで熱し、ハンマー等で叩いて圧力を加えて目的の形にします。叩くことで金属内の空隙をつぶして結晶を細分化し、結晶の方向を整えて強度を強めることができます。そして、最後に研磨して完成です。新品の光り輝く刀は、竹をも切り裂くことができます。しかし、手入れが悪いと錆が生じてきて、その切れ味は悪くなります。この錆は刃とは全く別のもではありません。先ほど述べたように刃そのものです。刃の表面が酸化したものです。つまり、刃自身が変わった、ということです。この刀身を人にたとえて、自分の行いや過ちが原因で問題が発生したり、被害を被ったりしたときに、「身から出た錆」ということわざを使います。

私たちは、思うように物事が運ばなかったり失敗したりしたときに、その原因を他に求めてしまうことがあります。しかし、そんな時に良く振り返って考えてみると、自分の言動が原因で問題の事態を生んでいた、自分の努力が十分でないために失敗したりしていることに気づくことも少なくありません。まさに「身から出た錆」です。刃が錆

びないためには日頃から手入れを欠かさないことが大事です。また、万が一錆びてしまったときにはどうすれば良いのか。それは錆を取り除き、磨き、研ぎ直せば良いのです。私たち人間も同じです。皆さんは日々学校で学習や活動に取り組んでいます。この学びが自分を磨き、光り輝くことになるのです。学ぶことが手入れであり、研磨なのです。また、刃物の場合、研磨するためには砥石が必要です。砥石にあたるのは先生、友人ということになるでしょう。皆さんは人とかかわることで自分に磨きをかけます。また、教科書や書籍も砥石になると思います。読書で磨きをかけるということもできます。多くの人とかかわり、本をたくさん読んで、錆びない自分をつくってほしいです。

部活動の報告

陸上競技部…第20回江東区ナイター陸上競技大会：平成29年8月26日（土）

結果：共通男子4×100mR 3年Oさん・Kさん・Uさん・Nさん第2位 46秒69
 3年男子100m 3年TKさん 第8位 12秒18
 3年男子110mJH 3年SSさん 第7位 19秒24
 共通男子走幅跳び 3年SOさん 第7位 5m43



第3回足立区立中学校陸上競技選手権大会：平成29年9月2日（土）

結果：3年男子100m 3年TKさん 第6位 11秒99(予選)、12秒61(決勝)
 共通男子200m 3年RNさん 第7位 24秒61
 3年男子110JH 3年SSさん 第3位 19秒67
 共通男子4×100mR 3年Oさん・Kさん・Yさん・Nさん 第6位 48秒01
 3年男子走幅跳び 3年RNさん 第2位 5m80
 3年SOさん 第5位 5m57
 3年MYさん 第7位 5m31

卓球部 …第2回朝霞市ジュニアオープン卓球大会：平成29年8月27日（日）

結果：2年IKさん（予選2位通過、決勝トーナメント2回戦進出）
 2年MMさん（予選2位通過、決勝トーナメント2回戦進出）
 1年YSさん（予選2位通過、決勝トーナメント1回戦敗退）
 1年YNさん（予選3位敗退）

第20回中高生卓球大会：平成29年8月29日（火）

結果：3年SSさん（予選1位、1位トーナメント2回戦進出）
 2年IKさん（予選2位、2位トーナメントブロック優勝）
 2年MMさん（予選3位、3位トーナメントブロック優勝）
 1年YSさん（予選3位、3位トーナメントブロック3位）
 1年YNさん（予選3位、3位トーナメント一回戦敗退）



男女バトミントン部…練馬区民大会：平成29年8月21日（月）、24日（木）

結果：男子シングルス 2年RKさん(3回戦敗退)、STさん、SHさん(2回戦敗退)
 女子シングルス 1年TYさん、2年TKさん(3回戦敗退)
 2年HJさん、YMさん(2回戦敗退)
 男子ダブルス 2年Kさん・Kさん組(2回戦敗退)
 1年Kさん・Gさん組、Tさん・Sさん組、Hさん・Yさん組(1回戦敗退)
 女子ダブルス 2年Sさん・Kさん組、Kさん・Mさん組(3回戦敗退)
 2年Oさん・Hさん組(2回戦敗退)、2年Oさん・Mさん組(1回戦敗退)



退)

野球部 …練馬区秋季大会：平成29年9月3日（日） 結果：0-7（VS開進一中）

吹奏楽部 …グレースメイト介護老人ホームでの演奏 8月20日（日）

貫井町会敬老会での演奏 9月10日（日）

